

## 研究部レポート

### 東京の鳥の繁殖分布の変遷・1 減った鳥

〔10～11ページの「東京都鳥類繁殖分布調査から見えてきたこと」も併せてご覧ください〕

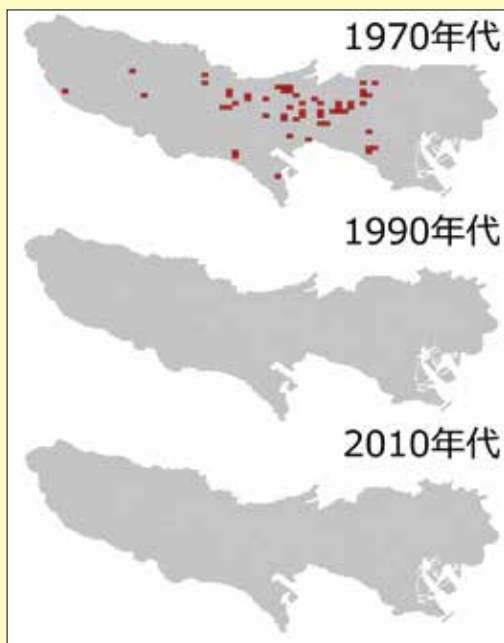
#### アカモズ・・・1970年代以降激減した夏鳥



かつては、5月ごろに渡来し、8月に渡去する夏鳥で、JR山手線以西の武蔵野台地や丘陵地で繁殖していました。

【記録例】1964年6月 世田谷区代田

(ヒナ確認)、1954～61年 東村山市(毎年繁殖)、1964～70年 町田市(抱卵・ヒナ確認)。その後の繁殖記録は1980年代初めごろに練馬区であるだけです。その後の記録は、おもに奥多摩地区での観察記録で、鳥信での記録は1992年5月のあきる野市での雌1羽の観察が最後です。



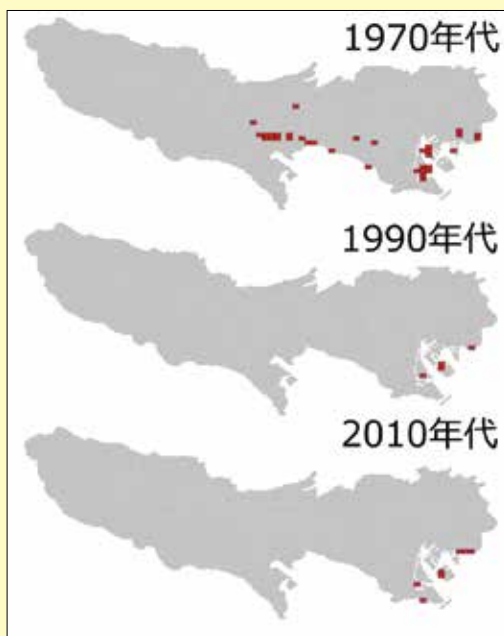
#### シロチドリ・・・繁殖地がなくなって激減した水鳥



シロチドリは、かつては年間を通して生息し、海岸の埋立地、砂地、河口近くの河川敷で多数繁殖していました。多摩川の中流域では、コチドリ・イカルチリ

とともに3種で営巣場所の取り合いをするのが見られていました。しかし、東京湾岸の埋立ても終わり、河川にも営巣適地がなくなり、いまでは東京湾岸などで少数の営巣が見られる程度になっています。シロチドリの減少の状況については、当会幹事の田久保晴孝さんが「シロチドリの減少とその復活に向けて(上・下)」として、本誌No.665・666(2011年)に記しています。

(川内 博)



【資料・写真提供】バードリサーチ(地図)・内田 博(アカモズ)・鈴木弘行(シロチドリ)の皆さんに感謝します。